



## 『アンサンブル・レオーネ』のこと

藤原 義江

〔アンサンブル・レオーネ〕——これは、うちの歌劇団の若手男性ソリストを中心にした男性コーラスである。

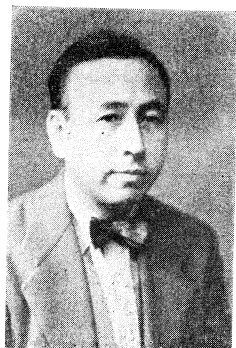
世に男性コーラスは多いが、このグループの様に、メンバーのどの一人をとっても現役の独唱者として屢々オペラ、演奏会、放送、TVなどで活躍している連中の集まったコーラスは珍しいのではないか。

このグループが出来るに至ったのは、男性ソリストたちの間で、オペラの度に集まるだけでは無意味だから、ソリストたちの個性を生かし乍ら、アンサンブルの美しさを出し、と云うくらいで出来たものだが、メンバーの一人、津田孝雄の言に依ると、去年オペラの練習で、指揮者のガエタノ・コメリ先生にうんとしぼられ、そのウサ晴らしにビールを飲んで大いに気炎をあげ、コメリ先生を見返してやれ、と云うことでこのグループが誕生した、とのことだ。どうやらこれが本根らしい。

誕生のきっかけはともかく、このグループはその後、毎週二回の定期練習で、実力とレパートリーをたくわえつつある。

ソリストたちの集まりだから、単なるアンサンブル中心のコーラスと違い、独唱あり、重唱あり、合唱あり、で、聴いていて実に楽しめる。オペラにとつても、ソリスト同志の息の合った重唱は非常に大切なことだ。

私はこの連中が、更に積極的に練習にはげみ、その技を磨いて、メンバー個人のためにも、藤原歌劇団のためにも、大いに頑張ってもらいたい、と期待している。



### 小船幸次郎 略歴

明治40年4月4日横浜市に生る。

作曲と指揮を独学。後に作曲をアレキサンダー・チェレプエンに、指揮をヨーゼフ・ローゼンシュトックに学ぶ。

第六回音楽コンクールに管弦楽〔序曲第一番〕を以て1位入賞。弦楽四重奏第一番〕に依り第17回国際現代音楽祭に入選してワルソーで演奏さる。日本人として最初の入選であった。伊太利政府の招きで渡伊、日本の現代管弦楽作品の紹介に当ると共にローマのサンタ・チエチリアアカデミアでモリナーリの指揮完成科を修了した。

帰国後、日本放送交響楽団、大東亜交響楽団等の指揮者を歴任、戦後は郷土の音楽開発に尽力、横浜交響楽団の育成に専心する傍ら、東京放送合唱団を指揮し、合唱運動を推進した。横浜国立大学と市立大学で教鞭をとっている。